

市立岸和田市民病院経営強化プラン（案）に対する

意見公募の内容と本市の考え方

No.	ご意見の内容（抜粋）	件数
1	現状の経営形態でよい。なぜ地方独立行政法人化なのか。	22
	～主な意見～	
	・現在の経営形態での存続を望む	
	・市民の命を守る公立病院が必要	
	・地方独立行政法人化には反対	
	・民営化には反対	
本市の考え方		
<p>一般地方独立行政法人は、地方公共団体が公共上の見地から確実に実施されることが必要な事務及び事業で、民間の主体にゆだねた場合には必ずしも実施されないおそれがあるものを効率的かつ効果的に行わせることを目的とした制度です。地方独立行政法人となった場合でも、市が100%出資する法人であり、運営負担金として市からの繰入金も今までどおり必要です。公立病院であることに変わりはありません。</p> <p>現在の経営課題の中でも、医師の確保は最重要課題です。医師の働き方改革で医師の勤務時間が制約される中で、医師を確保するためには柔軟な勤務体系を設ける必要があります。また、その他の医療職についても、迅速な採用ができていない現状もあります。</p> <p>これらの課題を解決し、これまでどおり産婦人科や小児科等の不採算医療をはじめ、公立病院としてこれまで果たしてきた医療機能が損なわれることなく、将来にわたって、病院の最大の目的である市民の皆さんに安心・安全な医療の提供が持続できるようにするためには、病院を取り巻く環境が年々厳しくなっている今日、経営形態の見直しも必要であると考えております。変更することになったとしても、市民の皆さんに提供する医療サービスに関してはこれまでと何ら変わりございません。</p>		

No.	ご意見の内容（抜粋）	件数
2	地方独立行政法人になると利益優先となるのではないか。不採算部門を切り捨てるのではないか。	10
～主な意見～		
・産婦人科や小児科など不採算部門の切り捨てに繋がる		
・経営が最優先となり、市民への医療環境が悪化・低下する		
・利益の上がる治療法が進められ、市民の医療負担が増える		
・民間病院のように患者を選ぶ病院になるのではないか		
・市民の命は金もうけの対象ではない		
・お金を追求するだけの市民不在の病院経営はやめてほしい		
本市の考え方		
<p>利益が最優先されるとのご心配については、今までもいわゆる不採算と言われる救急や小児医療等は市が財政負担していましたが、地方独立行政法人となったとしても不採算医療に対する市の財政負担は継続されますので、利益最優先として不採算部門を切り捨てることはございません。過度な検査や薬の投与を行うこともなく、市民の皆さんに提供する医療サービスに関してはこれまでと何ら変わりございません。</p>		

No.	ご意見の内容（抜粋）	件数
3	地方独立行政法人化した場合、災害対策や新たな感染症が起きた場合の対応はどうなるのか。	3
・将来必ず起こるであろう感染症拡大や大災害があった時対応に困る		
・感染症拡大や大災害時の市民受け入れ対応を考慮したのか		
・感染拡大時に市の中心となり他の機関と連携することができないのか		
本市の考え方		
<p>地方独立行政法人化しても公立病院であることには変わりはありません。公立病院の責務として、今までどおり災害対策や新興感染症対策に取り組んでいきます。</p>		

No.	ご意見の内容（抜粋）	件数
4	地方独立行政法人になると職員が減少するのではないか。	2
・採算性を求めることになり、職員が減少し、余力がなくなる		
・医療従事者の配置削減は絶対反対		
本市の考え方		
<p>予算や人事面での制約が少なくなり、より柔軟な採用や人員配置が可能になります。地方独立行政法人となった場合は、むしろ職員数は増加すると考えています。</p>		

No.	ご意見の内容（抜粋）	件数
5	参考にしている意見が少なすぎ、地方独立行政法人化ありきの内容としか見えない。メリット、デメリットの根拠が見えてこない。専門家をもっと入れて、既に他の地方独立行政法人化した自治体等の関係者、そこで働いている人等に話を聞くべき。	1

本市の考え方

外部有識者2名の他にも、オブザーバーとして病院経営に詳しいコンサルにも会議に出席してもらい、必要に応じて意見を聞いております。

今後は、今回の「地方独立行政法人化が最適ではないか」との意見を踏まえて、調査・検証をしてまいります。

総務省の「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」では次のように書かれており、地方独立行政法人化は医師・看護師等の確保に有効と考えております。

以下、引用

これまで実際に地方独立行政法人化した病院において、人事面・財務面での自律性が向上し、医師・看護師等の確保等の面で高い効果を上げているケースが多いことや、多くの国立病院も独立行政法人化し、医師・看護師等の確保に効果を上げていることから、今後の大きな課題である医師・看護師等の確保や働き方改革にも有効と考えられることにも留意すべきである。

また、地方独立行政法人化により、柔軟な勤務制度や専門性を考慮した給与制度等を通じて人材を確保・育成しておくことや、職員定数・人事面での自律性を活かした機動的な人員配置を可能とすることは、新興感染症の感染拡大時等において公立病院が役割を果たす上でも効果を発揮するものと考えられる。

No.	ご意見の内容（抜粋）	件数
6	市民が安心できる良質な医療を提供しようとするのなら、職員の声を聞いているのか。	1

本市の考え方

3年ごとに職員満足度調査を行い、職員の声を聴いております。経営形態の変更については方針が決定しましたら、丁寧に説明してまいります。

No.	ご意見の内容（抜粋）	件数
7	地方独立行政法人化すると、建替え費用を病院が確保し、建替え先も病院が選定するなど、病院の負担増加が非常に大きくなると思われる。	1
本市の考え方		
建替え費用については、地方独立行政法人になっても病院負担が多くなることはございません。建替え費用を含む建設改良費の返済については、市の財政負担が認められており、地方独立行政法人になっても変わりはありません。		

No.	ご意見の内容（抜粋）	件数
8	地方独立行政法人化すると費用がかかるからと設備の更新が遅れてしまい、緊急性があっても修理、更新されず、壊れてから対応となることが予想される。緊急性のある状態になる前に費用をかけて対策する必要があるが、採算性を優先する地方独立行政法人では可能とは思えない。	1
本市の考え方		
緊急性のある状態になる前に更新するのが理想ではありますが、現在の経営形態でもすべての設備を壊れる前に対応することはできておりません。壊れてもすぐに修理できる設備や他で代替できる設備は壊れるまで使うこともあります。その中でも優先順位を付けて更新しております。これは地方独立行政法人になっても変わりはありません。		

No.	ご意見の内容（抜粋）	件数
9	スケジュールありきではなく、期限を決めずに、市民も職員も納得するようにしてほしい	1
本市の考え方		
経営形態変更のスケジュールは現時点では決まっておりません。方針が固まれば、スケジュールを含め丁寧に進めてまいります。		

No.	ご意見の内容（抜粋）	件数
10	過去3年続いて国からのコロナ対策のお金が入って黒字なのに、市役所からの手を離れ、独立採算を考えるなどあってはならない。医療は金もうけのためにあるのではない。市民の健康を守るのが第1の使命だと思う。	1
本市の考え方		
ご指摘のとおり、コロナ対策補助金があり現在の病院経営は比較的安定していますが、将来的には医師確保等において課題が残ります。その課題を解決して持続的に今までどおりの医療を提供するための経営形態の見直しです。金もうけのためではございません。		

No.	ご意見の内容（抜粋）	件数
11	市民病院でなくなれば、岸和田市には市民にとっての病院がないと思われ転入が減少するのではないかと。また、財政赤字を宣伝する事になるのではないかと。	1
本市の考え方		
地方独立行政法人化したとしても、市が100%出資する法人の公立病院であり、市民病院であることに変わりはありません。地方独立行政法人化しても市の財政負担は引き続き発生しますし、財政赤字の宣伝になるとは考えておりません。		

No.	ご意見の内容（抜粋）	件数
12	現在の公立病院としての経営が難しいようだが、いくらでも改善の余地があると考えるが、経営困難な理由を列挙して欲しい。	1
本市の考え方		
<p>主な経営困難な理由は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革で医師の勤務時間が制約を受けるなか、週4日勤務など多様な働き方ができる体制づくりが必要。 ・診療報酬改定に対応するために人員を増員する際、市人事部門の決裁や手続きに時間を要し、迅速に行えない。 ・医師事務作業補助者や看護補助者は会計年度任用職員として採用しているが、職員定数等の関係から常勤として採用することが難しいが、地方独立行政法人では定数管理に縛られることなく常勤として採用できる。 ・現在は市役所業務を中心とした給与・手当規定が多く、病院に適した手当を整備する際に時間を要したり、病院が求める運用ができない場合がある。コロナ禍で看護職員の処遇改善手当支給が他病院より6カ月以上遅れた。 ・現在の経営形態では業務の契約は単年度が基本となるが、地方独立行政法人化すると複数年契約が可能となり、経費削減が図れる。 		

No.	ご意見の内容（抜粋）	件数
13	地方独立行政法人化すると、既存の大学医局との関係が薄くなり、優秀な医療人材が確保できなくなるので、市民にとって不安が大きくなる。	1
本市の考え方		
地方独立行政法人は100%市が出資する法人の公立病院です。既に地方独立行政法人化した病院は多くありますが、既存医局との関係は変わっていません。		

No.	ご意見の内容（抜粋）	件数
14	地方独立行政法人化すると、地域医療連携が保証できなくなるので、市民の不安が大きくなる。	1
本市の考え方		
<p>医療機関はそれぞれが役割に応じた医療機能の分担を行っています。これは国の施策であり今後もその流れは変わりません。市民病院は急性期・高度医療を中心に担っており、地域の医療機関との関係は強化することはあっても、希薄になることはありません。なお、当院は地域医療支援病院であり、地域の医療機関との紹介・逆紹介は一定比率以上を保持しなければならない病院です。</p>		

No.	ご意見の内容（抜粋）	件数
15	地方独立行政法人化すると、市民の代表である議会の監視が不可能になり、医療に対する市民の声を反映できなくなり、市民の不安が大きくなる。	1
本市の考え方		
<p>地方独立行政法人の定款の議決、市が策定する病院の中期目標の議決、市民病院が中期目標に基づき作成する中期計画の議決等は市議会の議決が必要です。十分に関与する機会が設けられています。</p>		

No.	ご意見の内容（抜粋）	件数
16	医療は新型コロナウイルスのような感染症が一気に拡大した時にすぐに対応できるように体制を日常的に整えておく大事な分野の一つ。儲からないから人員削減したり、ベッド数を削減したりするといざと言う時に対応できない事がある。そうならないように国や自治体が財政支援することが大事になる。医療分野は、儲かるか、儲からないかで左右されないように常に公的資金で守っていく必要がある。	1
本市の考え方		
<p>地方独立行政法人となった場合でも、市が100%出資する法人であり、運営負担金として市からの繰入金も今までどおり必要です。公立病院であることに変わりはありません。</p>		

No.	ご意見の内容（抜粋）	件数
17	今の市民病院と何も変わらないと言うのならこのままでいいのではない か。市の税金は市民のために使ってほしい。黒字を誇るのではなく市民のた めに生きたお金にしてほしい。	1
本市の考え方		
市民に提供する医療は地方独立行政法人になったとしてもなんら変わりませんが、医 師の確保がしやすくなるなどの効果が期待できます。医師の確保は、市民に提供する医療 の充実にも繋がるものと考えております。		

No.	ご意見の内容（抜粋）	件数
18	その他	14
～主な意見～		
・ 市民の意見を聴いてほしい。市民説明会を実施してほしい。		
・ 突然の地方独立行政法人化の方針に驚きと不安		
・ 議会や審議会で議論は尽くしたのか。審議会を開いてほしい。		
・ パブリックコメントの期間が短い		
・ 住民投票を行うべき		
本市の考え方		
<p>一般地方独立行政法人は、地方公共団体が公共上の見地から確実に実施されることが 必要な事務及び事業で、民間の主体にゆだねた場合には必ずしも実施されないおそれ があるものを効率的かつ効果的に行わせることを目的とした制度です。地方独立行政法人 となった場合でも、市が100%出資する法人であり、運営負担金として市からの繰入金も 今までどおり必要です。公立病院であることに変わりはありません。</p> <p>これまでどおり、不採算医療等の公立病院として果たしてきた医療機能が損なわれる ことなく、将来にわたって市民の皆さんに安心・安全な医療提供が持続できるようにする ための経営形態の変更であり、市民の皆さんに提供する医療サービスに関してはこれま でと何ら変わりなく、そのため説明会の開催は考えていません。</p> <p>なお、市民の皆さんの代表者である市議会議員の方には、経営形態の変更時には関連す る議案を議決いただくこととなります。市議会において議論されることで市民の皆さん の種々のご意見をいただくものと考えております。</p> <p>医療を取り巻く環境が絶えず変化するなか、市民病院の現場では患者さんに適切に医 療を提供するための緊急性と専門性の高い判断が日々求められており、患者さんの様々 なニーズの一つひとつに迅速に答えていくことの積み重ねが、市の医療政策への貢献に 繋がっていくと考えております。</p> <p>パブリックコメントについては、岸和田市意見聴取の手続きに関する条例に基づき実 施しております。</p>		